



認定 NPO 法人
世界の子どもにワクチンを 日本委員会

JCV journal

2023 Spring Vol.20



© UNICEF Bhutan/2022/SPelden

私ども「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)の“子どもワクチン支援活動”に、いつもあたたかいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2022年も総額1億1,606万6,601円分のワクチンや関連機器などをミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツ4カ国の子どもたちに贈ることができましたのでご報告いたします。

2022年度 JCV 支援レポート



ミャンマー連邦共和国

2021年のクーデター以降、市民生活の混乱は収まらず、5歳未満の子どもの5人に1人がワクチンを接種できていないと推測されています。暫定政府からのワクチン供給が停止されている少数民族地域の子どもたちへワクチンを贈り、同時にワクチン接種体制の構築を支援します。

【支援内容 (2023年向け)】 2,773万2,000円

- ワクチン: BCG(結核) 約1,250人分、MR(はしか/風疹) 約1,250人分を予定
(※現地でワクチンを調達するため詳細は後日UNICEF事務所により決定)
- コールドチェーンなど: 少数民族の保健機関育成・接種実施費用、看護師やボランティアのトレーニング費用、技術アシスタント費用



ラオス人民民主共和国

山岳地帯の子どもたちへワクチンを届ける努力が重ねられていましたが、コロナの影響で定期ワクチン接種体制が手薄になり、課題は山積しています。接種の状況や必要とされている支援内容を直接確かめるため、現地UNICEF事務所と視察訪問の調整を進めています。

【支援内容 (2023年向け)】 3,286万2,420円

- ワクチン: 経口ポリオ 340,000人分、MR(はしか / 風疹) 50,000人分、TD(破傷風 / ジフテリア)304,000人分、B型肝炎 154,000人分



ブータン王国

今年も95%の子どもたちに、必要なワクチンを接種することができました。皆さまの支援で贈られたワクチンは、都市部や町の子どもたちだけでなく、ヒマラヤ山脈に暮らす遊牧民の子どもたちや山奥の集落の子どもたちにも届けられます。

【支援内容 (2023年向け)】 2,912万6,781円

- ワクチン: 経口ポリオ 66,000人分、BCG 130,000人分、MMR(おたふく風邪 / はしか / 風疹)42,500人分、DPT(ジフテリア / 百日咳 / 破傷風) 65,000人分、TD(破傷風 / ジフテリア) 100,000人分、B型肝炎 15,000人分
- コールドチェーンなど: 注射器、メンテナンス訓練費用、プログラム管理費用



バヌアツ共和国

83の島々からなる南太平洋の小さな国では、ワクチンの運搬が大きな課題です。現地スタッフは、全ての子どもにワクチンを届けるために診療所を出て、ボートや徒歩で数多くの集落へ向かいます。場所によっては、泊まりがけで訪問ワクチン接種を行っています。

【支援内容 (2023年向け)】 2,634万5,400円

- ワクチン: MMR(はしか / おたふく風邪 / 風疹) 67,500人分、五価(ジフテリア / 百日咳 / 破傷風 / B型肝炎 / 髄膜炎桿菌b型(Hib)による細菌性髄膜炎) 21,700人分
- コールドチェーンなど: 注射器、セーフティボックス、保護者への啓発活動費用、ヘルスワーカー研修費用



Information

ワクチン価格の更新

ワクチンの価格が更新されました。最新の価格はJCVのホームページ (www.jcv-jp.org/activity) でご確認ください。(※ワクチンの価格は支援を実施する12月の為替レートに合わせて毎年更新されます。)



ワクチン価格

